

令和6年度 学校経営報告(学校評価報告書)

四條畷市立四條畷西中学校

I 学校経営方針

【学校経営基本方針決定の背景(学校運営の現状)】

本校では、生徒の成長を目標にこれまでさまざまな取組みを推進してきたが、取組みが定着してきた現状及び、昨年度、一昨年度のアンケートの結果がほとんど変わらなかったこと等をふまえると、取組みそのものに関して以下のような点が懸念される。

- ① 取組みをすることが主になり、生徒自身の成長の実感が目的として共有されていない可能性がある。
- ② 生徒や教員がやりがいを実感しにくい取組みになっている可能性がある。
- ③ 教職員の異動により、導入時の取組みの意義や目的が薄れ、形骸化する。
- ④ 今の生徒の実態にあった取組みや目標であるか確認されないまま取組みだけが残し教員の負担感が増す。

【学校教育目標・めざす生徒像】

本校の教職員が感じている本校の生徒の長所と課題をふまえ、学校教育目標及びめざす生徒像を次のように定める。

夢に向かって自ら学び、何事にも前向きに取り組む生徒

【学校経営の基本方針】

生徒の実態から見出しためざす生徒の変容を共有し、組織的・戦略的に教育活動を展開することで、生徒が成長を実感できるようにする。

- (1)さまざまな教育活動における取組みの意義やねらい(なぜそれをするのか)を問い直し、教職員間、あるいは教職員と生徒の間での共有をとおして教育的効果を高める。
- (2)生徒の長所を活かして課題の変容と成長を促す。
- (3)授業改善、キャリア教育を軸に、生徒の実態をもとに、組織的・戦略的に生徒の変容を促す体制を整える。

上記の基本方針及び下記の学校教育目標等は、学習指導要領及び四條畷市教育振興基本計画等の内容と、本校の現状をてらしあわせて決定している。

校 長 中村 真奈美

2 めざす学校像、子ども像、教師像(中期目標)

★めざす学校像

- ・生徒一人ひとりの違いを認め合い、お互いが尊重し合う学校
- ・楽しく学び、確かな学力が身につく学校
- ・学習環境が整った美しい学校
- ・学校・家庭・地域が連携し教育力の向上をめざす学校

★めざす子ども像	夢に向かって自ら学び、何事にも前向きに取り組む生徒 ・互いの良さや違いを認める人 ・自分で考え意見を出す人 ・失敗を恐れず行動する人
★めざす教師像	・課題を明確に把握し、常に情熱と使命感をもち、職務を遂行する教師 ・豊かな人間性と社会性をもつ教師 ・危機管理意識の高い教師 ・互いに協力し、高め合う、指導の方向性が一致した、温かみあふれる教師集団

3 学校の現状（よさと課題）

（1）子どもたちの実態

令和5年度末、教職員が意見を出し合った本校の生徒の長所と伸ばしたい力は次のとおりである。

【長所】

挨拶ができる、元気、明るい、楽しいことへの団結力がある、元気に楽しむことができる、裏表がない、素直、人懐っこい、優しい、思いやりがある、オープンで肯定的、フレンドリー、何でもやってみようとする 等

【伸ばしたい力】

学習意欲、学習における粘り強さ、継続力、挑戦する気持ち、周りに流されない力、自分の意見をもつ力、自信、いやなことを避けない強さ、諦めない気持ち、自分で学習する力 等

（2）子どもたちを取り巻く環境

①教育環境

概ね学校と家庭との連携はしやすく、何かあれば共有して双方から指導することができている。しかし、一部、夜遊びや携帯電話の使用時間の長さによる影響や体調管理、SNSトラブルの対応等、学校では指導が難しい課題が生じることもあるなど、生徒の成長にとって心配な環境も見受けられる。

②地域

コミュニティースクール、すこやかネット、その他地域諸団体による学校への協力・支援体制があり、学校運営上の課題を共有して必要に応じて協力を得ている。いずれも、子どもたちのために何ができるかを中心に据えている。

③組織（教職員、PTA、保護者）

教職員、PTA、保護者とも協力的であり、生徒が楽しく学び、成長するためのより良い環境を整えたいという思いは共通している。PTAの学年委員決定やボランティアへの参加にも、前向きな保護者がたくさんいる。

4 今年度の達成目標、具体的な方策

目標設定区分1『学校経営』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）	
・生徒が自己の成長を実感したり、自己実現をしたりすることができる。 ・教職員が生徒の成長や自己実現をする姿を見て、本校での働きがいや喜びを感じることができる。		生徒アンケート「西中はよい学校と思う」の否定的回答 現状値 17.3% 目標値 12% 結果18.3% 保護者アンケート「学校の雰囲気も良く、子どもたちは生き生きしている」の否定的回答 現状値 16.4% 目標値 11% 結果17.4% 教職員アンケート「今年度、教師になってよかったと思う場面があった」の肯定的回答 現状値 新規 目標値 75% 結果70%	
B 目標実現に向けた取組み			
項目	達成基準	結果	評価
生徒アンケート「夢や目標をもって学習に取り組んでいる」の肯定的回答	現状値 70.8% 目標値 75%	74.2%	目標値に届かなかったものの、肯定的回答は増えている。より具体的に「夢や目標」を描けるようなしかけをして、一層の成長につなげたい。
保護者アンケート「学校は将来の進路や職業などに適切な指導を行っている」の肯定的回答	現状値 72.2% 目標値 75%	77.2%	目標を達成した。 職業調べや職業体験、1,2年生にも卒業後の進路を意識させる掲示等ができた成果である。
教職員アンケート「授業や活動が生徒の将来のためにつながると、生徒が感じるように取り組んでいる」の最肯定回答	現状値 41.9% 目標値 46%	27%	肯定的回答は97%と高かったが、最肯定は現状値を大きく下回った。教職員が自信をもって指導にあたれるような組織的な取組みの充実や成果の発信が必要である。

目標設定区分2『学校組織の運営』

A 今年度の成果目標		達成基準(各種調査、アンケート等)	
教職員が、学校教育目標・めざす生徒像「夢に向かって自ら学び、何事にも前向きに取り組む生徒」の実現をめざして取組みを推進する意識をもち、実践に活かされている。		教職員アンケート「学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる」の最肯定回答 現状値 35.5%(肯定的:93.6%) 目標値 40% 結果 47%(肯定的:100%)	

B 目標実現に向けた取組み			
項目	達成基準	結果	評価
教職員アンケート「学校の目標や重点課題に向けた取組みに積極的に参加している」の否定的回答	現状値 18.5% 目標値 13%	11.1%	目標は達成したが、否定的な教職員がいることは課題である。学校の目標や重点目標の共有が十分でなかった可能性がある。
教職員アンケート「各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」の肯定的回答	現状値 74.2% 目標値 79%	90%	目標は達成した。 特に学力向上関係の発信で、年度内に複数回、テストやアンケート結果の分析・共有があり、PDCAサイクルについての言及もあったため、よく意識づけられたと考えられる。

目標設定区分3 『人の管理・育成』			
A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）	
学校の教育活動の成果や課題、短・中・長期的なビジョンをふまえて、改善すべき課題や各自が担うべき役割、互いに協力し合いながら教職員として成長を促す意識等の高まりが見られる。		教職員アンケート「職員会議や部会などの会議では積極的に発言している」の肯定的回答 現状値 55.5% 目標値 60% 結果44.4%	
B 目標実現に向けた取組み			
項目	達成基準	結果	評価
教職員アンケート「管理職や同僚と意思疎通を図り、協力連携に努めている」の否定的回答	現状値 3.7% 目標値 0%	3.7%	目標を達成していない。 しかし、ほとんどの教職員が意思疎通や連携を意識して教育活動の質の向上や課題改善に取り組んでいることがわかる。
教職員アンケート「悩んだり困ったりしたときに相談できる同僚（管理職も含む）がいる」の否定的回答	現状値 7.4% 目標値 0%	7.4%	目標を達成していない。 引き続き、全員が安心して働ける環境づくりに努める必要がある。

目標設定区分4『地域連携と渉外』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）	
・地域の方に、学校の教育活動や生徒・教職員の様子を知ってもらう。 ・校区小学校、PTA、学校運営協議会、すこやかネット等、学校や地域の諸団体が学校運営にかかわれる場面を増やす。		関係者アンケート「学校の様子や教育活動について知る機会があった」 現状値 新規 目標値 80% 結果 100% 関係者アンケート「学校の取組みの企画・運営や、教職員、生徒にかかわって、楽しかった」の肯定的回答 現状値 新規 目標値 80% 結果 83.3%	
B 目標実現に向けた取組み			
項目	達成基準	結果	評価
保護者アンケート「PTA活動には参加しやすい」の肯定的回答	現状値 65.8% 目標値 70%	68.3%	PTAの在り方が変わってきている中で、7割近い保護者が参加しやすいと回答していることは評価できる。
関係者アンケート「西中はよい学校と思う」の肯定的回答	現状値 新規 目標値 80%	83.3%	目標を達成した。 学校運営協議会等を通じて、地域の方に教育活動に参加してもらえる場を一層増やしたい。

5 学校関係者による評価（学校運営協議会等）

【学校運営協議会委員アンケート結果】

「学校の様子や教育活動について知る機会があった」…肯定的回答100%

「四條畷西中学校に関する取組みの企画・運営や、教職員、生徒にかかわって楽しかった」…肯定的回答83.3%

「西中はよい学校だと思う」…83.3%

学校運営協議会の会議時に学校だよりを配布して学校の様子を伝えたことや、図書室の開館や昼休みの見守り活動を通じて生徒や教職員とかかわっていただいた。「もっとかかわりたい」とのご意見もいただいている。

6 総合評価と次年度に向けて

1 学校経営について

生徒・教職員・保護者がそれぞれの立場から「よい学校」だと思える場面を増やしたいと考えたが、一定数いる否定的な回答が減らなかった。次年度は目標と取組みを焦点化して明確にし、何をめざせばよいのかを一層わかりやすく示して共有したい。そのために、次年度に向けて、生徒や教職員の意見を聞いて学校教育目標を変更し、全教職員でグランドデザインを作成している。生徒がより具体的に自己実現をイメージし、それに近づける学校づくりをめざす。

2 学校組織の運営について

アンケート結果はいずれも目標を達成した。組織的な運営はできているので、次年度は一層質の向上をめざしたい。

3 人の管理・育成について

リーダー層の教職員が経験の浅い教職員を育成しようとする意識は高く、経験の浅い教職員もさまざまな支援や助言を受けて成長しようとする意識は高い。また、与えられた業務に責任をもって遂行する意識もある。しかし、個々の教職員が主体的に参画し、質の向上をめざして発信する意識の醸成が必要である。

4 地域連携と渉外について

今年度は、地域の方に「生徒や教職員が活動している様子を知ってもらう」ことを目標に発信に力を入れた。今後は学校のニーズを理解し、学校運営協議会や保護者の立場からできることを一緒に考え、力を貸してくださる方を一層増やし、活動を活性化させたいと考えている。